第58号

兵庫県のり漁場環境情報（西播海域　11　号）

2022年 1月26日発行
兵庫のり研究所

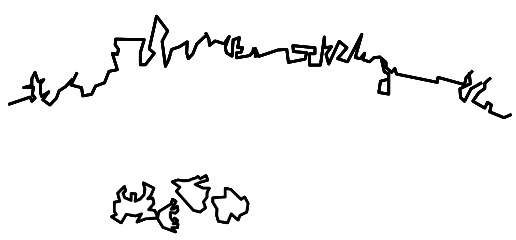
西播地先漁場では、小型珪藻が依然として多く確認されていますが、発生量はやや減少していました。窒素は、陸水の影響等が見られた地点を除き、西播地先で１μg-at／Ｌ以下、沖合漁場では概ね１～２μg-at／Ｌの値となっています。

（栄養塩、珪藻）

西播地先では、前回(1/17)調査と同様に、スケレトネマとキートセロス等が発生しているが、主体はスケレトネマからキートセロスに交代していた。両種を合わせた海水１mLあたりの細胞数は、1000～1700細胞（前回値：2000～3500細胞）とやや減少していた。赤穂と網干では陸水等の影響がみられ、窒素の値が高くなっていた。また、網干ではリンの値が特異的に高くなっていた。

家島・坊勢では、キートセロスとユーカンピアがごくわずかに確認されるが、栄養塩を消費する珪藻類の発生量は少ない。しかし、海域北東部の青井では、西播地先と同様に珪藻類が確認された。

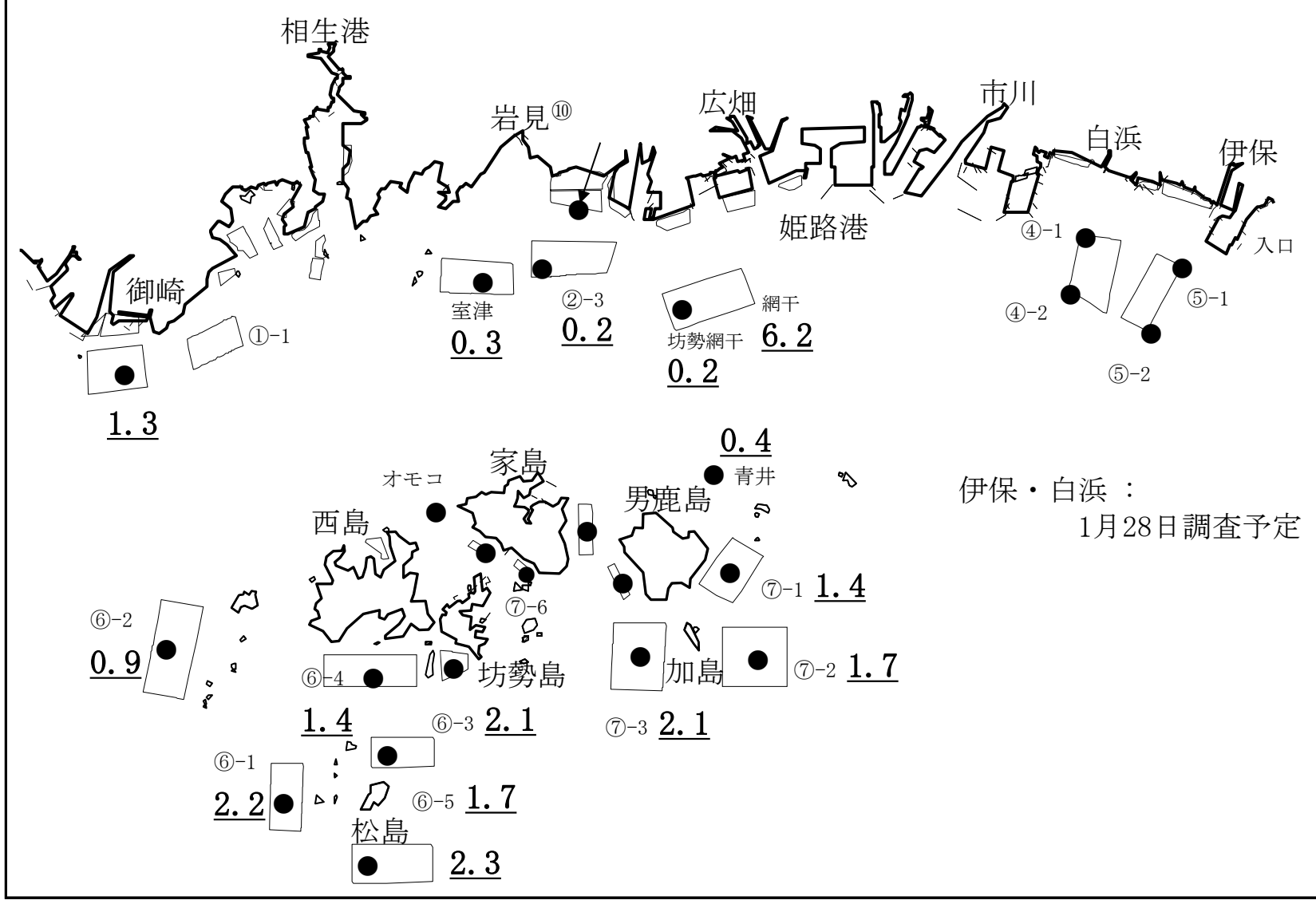
水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.1	**0.2**	2.8	1.3
	リン	0.27	**0.26**	0.28	0.28
家島・坊勢	窒素	2.2	**1.5**	2.4	1.0
	リン	0.57	**0.50**	0.45	0.42
		(1/17)	※西播地先は網干を除く		(1/27)

栄養塩（窒素）図

2022年 1月26日調査



伊保・白浜 ：
1月28日調査予定